

KOCHI ROTARY CLUB

2023
2024

SINCE 1937



世界に希望を生み出そう
2023-24年度 RIテーマ

週報



Weekly report

第3574回
第3575回

2024年 1月23日

2024年 1月30日

2024年2月6日発行

● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。一昨日の日曜日、法人会のクリーンデーがありました。27年続いていて、高知県下6カ所で一齐に清掃活動を行います。私も毎年参加しています。法人会ですので、いろんな企業さんが地域貢献、地域活動として参加しています。昔は、そこそこの年齢の高い方がおられたのですが、最近は若い方が多くて、世代交代されているように思います。

中央公園に集まって清掃を始めますが、思ったのは、高知の町ってゴミが少ないなということです。普段はあまり意

識していませんが、実際に道具やビニール袋を持って歩いても、なかなかゴミに出会いません。タバコの吸殻などはポツポツありますが、飲食店街なども汚れていなくて何もありません。高知に住んでいる方の、マナーの良さ、意識の高さを感じます。みんなが、そういう意識を持っているから、だんだん町がきれいになっていったんだろうなと。周りがきれいだと、ますますきれいになっていくことを実感しました。

下を向いてゆっくり歩いているといろんな発見がありました。裏通りを歩くと、こんなお店が出来ているとか、いつの間にか空き地になっているとか、気分新たな街歩きでした。とても暖かくて風もなく、気持ちのいい日曜日の朝でした。



■本日のプログラム [2月6日]

ゲストスピーチ

高知北ロータリークラブ直前会長

(株)テレビ高知映像 代表取締役専務 尾崎 泉氏
「楽しいものづくり」

会 長	中 澤 陽 一
副 会 長	中 島 和 代
幹 事	細 田 長 司
副 幹 事	入 交 英 太
会報責任者	小 林 達 司

1月23日 例会

● **ロータリーソング** 「奉仕の理想」

◆ **委嘱状伝達**

- 関 裕司会員 (2024-2025年度 諮問委員会委員)
- 山崎広一郎会員 (2024-2025年度 ロータリー財団委員会資金推進小委員会委員長)
- 筒井善樹会員 (2024-2025年度 奉仕プロジェクト委員会国際奉仕短期交換小委員会委員)
- 南 範子会員 (2024-2025年度 奉仕プロジェクト委員会国際奉仕長期交換小委員会委員)



● **退会挨拶** ◎天野三恵子会員

2月1日付けで奈良支店に転勤となりました。高知に来て2年10カ月、この間、ほぼ皆さんと一緒にいただきました。高知も初めて、ロータリーも初めてで、本当に緊張しましたが、皆さんが、この暴れん坊の女性を非常に温かく受け入れていただいて嬉しくて、気づけば私の第二の故郷ではなく、第一の故郷が高知ではないかと。全然知らない人と話をしても、土佐の人よね、高知の人よねと言っていただくことが非常に多くて、それが私の喜びでした。

もう一つの喜びは、なんと言っても単身赴任が水に合って、本当に楽しい楽しい2年10カ月を過ごしました。奈良は、大阪から電車1本で40分ぐらいですので、家に戻るようになります。ただ、絶対もう一度高知に帰ってきたいですし、普通にちょいちょい来たいとも思っています。高知に来るときは、皆さんにお声も掛けて、こじゃんと飲みたいと思っています。

本当に2年10カ月、ありがとうございました。



● **次期クラブ国際奉仕委員会より**

2024-2025年度、短期交換派遣学生の募集要項が届きました。対象は高校生、各クラブから1名、派遣期間は2024年7月30日から8月20日まで。募集締め切り3月10日。



● **職業奉仕委員会より**

1月30日、12時半からキネマMにて職場例会を行います。出席をお願いします。



● **幹事報告**

・天野会員の送別会を1月29日「くらり」にて行います。





● 新会員スピーチ

日本銀行高知支店 開設80周年を迎えて
— 今後も地域の皆さまとともに —

日本銀行 高知支店長 藤原 文也 会員



私は昭和48年7月3日生まれ、出身地は東京。妻と娘の3人家族、現在単身赴任。社会人になるまで東京で育ち、父の出身が愛媛県今治市だったことから、幼少期には、広島から高速フェリーで何回か今治に来たことを覚えています。高知は初めての赴任です。趣味はウォーキング、読書。

2016年当時、私は中曽副総裁の秘書をしていましたが、囲み取材などのとき、秘書はボスを物理的に守る体力・体幹が必要だと分かり、水泳を週に1、2回、30分1キロと決めて泳いでいました。今でも時間があれば泳いでいます。さらに、日本銀行員というのは体力勝負みたいところがあると、高知支店に赴任したとき、改めて思いました。1億円の日本銀行券は、10キロの重さがあります。これを日々、金庫から入れたり出したりしなくてはいけませんし、高知支店に赴任した初日、気合を入れるために、朝夕の挨拶は大きな声でと部下に注意されました。

1997年、日本銀行に入行。2000年、アメリカのニューヨークに留学。9.11を体験。アメリカの発展の象徴であるワールドトレードセンターが一瞬にしてなくなるとか、愛国心の盛り上がり、戦争への急変する世論を生で実感しました。2007年帰国。2008年、リーマンショックが起り、想定外に内外の金融市場の動揺が大きく、日本の金融市場への伝播も非常に早かった。通常であれば金融政策とか様々な政策の準備は1カ月ぐらいかけるのですが、9月15日にリーマンが破綻、3日後、日本銀行が危機対応を発表といった突貫工事で、その最後のロジスティクスを担当する現場責任者として徹夜で対応したのを覚えています。中央銀行の危機対応を肌で実感して、自分の職業人生の基礎となりました。

日本銀行は全ての都道府県に支店があるわけではありませんが、福岡県などには2つの支店があります。日本銀行は日本銀行券を全国津々浦々に流通させることが使命で、その銀行券を調整することで物価の安定を目指していますので、昔の経済圏の銀行券の流通需要によって支店を設置しています。四国では、高知、高松、松山にあります。

元々、高知には支店がなく、松山や高松から陸路で銀行券を運ぶのは不便で、大阪から海上輸送をしていましたが、太平洋戦争が勃発して船舶の安全航行が不可能になったときに、県民あげての招致運動が起り、1943年に高知支店が開設しました。しかし、1945年、高知大空襲により店舗が喪失。1946年には南海大地震が起り、その後、間借りの店舗等で、何とか業務を継続。1948

年、2代目の店舗を新築。そして、現在の店舗は3代目で、発券課、業務課、総務課の3課体制、総勢40名で業務を行っています。

日本銀行というと、入りにくい、近寄りがたいといったイメージがありますが、全くそうではなくて、日本銀行の役割、お金を身近に感じてもらうために、随時、見学会や小学校高学年向けのインタースクールなどを開催しています。ご興味のある方はお申し込みいただければと思います。また、日本の中央銀行として円を供給、発行するだけではなく、リーマンショックのときは、ドルが足りなくて取り付け騒ぎが起る事態になったため、日本銀行とアメリカの中央銀行が円とドルをスワップして、金融機関にアメリカの通貨を供給、つまり外貨を供給することを、今でもやっています。

今年、7月3日には新しい銀行券を発行します。我々としては20年振りの大きなイベントで、昨年末には、高知支店でも説明会を実施し、メディア各社にも放映していただきました。

(当時のニュースの映像)

決済のキャッシュレス化が進んでいるのに、何で今さら紙の通貨を発行するのかというところですが、日本銀行券の発行残高はずっと増加しています。誰でもいつでもどこでも安心して使える現金の需要は大きくて、銀行券はまだまだ使われています。

では、キャッシュレスが進むとどんな世界になるのか。例えば北欧のスウェーデンでは、現金利用が極端に減ってしまった結果、高齢者や障害者の方など現金に依存する人々が、現金の預け入れや引き出しに支障をきたすことが起きて、社会問題化しています。このため、金融機関に対してはお客さんが来た場合には、必ず現金を供給しなさいとか、そのために中央銀行の権限を強化するといった議論が起っています。日本でも、政府がデジタル通貨を決めて、日本銀行に発行せよといつ言われてもいいように、CBDC(中央銀行デジタル通貨)の実証実験を進めています。

今、高知県のGDPは全国と同じような動きで回復をしています。私が高知県で注目している指標が、まずは宴会の数です。コロナで落ち込んだ数が12月1日時点で8割ぐらい回復していますが、これがコロナ前と同じぐらいに戻ってくると、元気いっぱいになるということです。あとは、観光・宿泊です。「らんまん」、台湾との直行便、クルーズ船の来高等で、十分にコロナ前の水準にきています。今は、個人消費、宿泊、観光が牽引する形で、高知県経済が回復してきますし、今後も勢いが続いていくことを願っています。

本日のお話を通して、皆さまが少しでも日本銀行を身近に感じていただけたら幸いです。引き続き、これまで支えていただいた地域の皆さま、そして高知県経済の、今後のますますの発展のために貢献していけるように、日本銀行高知支店としても頑張っています。

1月30日 職場例会

● 会長挨拶

皆さん、こんにちは。

コロナもあり、時間もかかり、やっと去年あたりから動き始めたというのが実際のところで、町が少しずつ変わっていった様子を皆さんに見ていただきたいと思います。そして、隣のKanau、キネマMと連携して、高知の町を活性化するようなことも仕掛けていけたら面白いなと思っています。

今日は、こちらを見て、桃ちゃんの話聞いて、大丸で食事という、普段あまり見られない町の変化を、ゆっくり散策していただければと思います。



(高知の町のアーカイブ映像上映)

◆ 安藤桃子氏スピーチ

私は高知に移住して10年です。先ほどの映像のように、高知は本当に元気で活気があって、今はいろんな所が無くなって行って寂しいと、ここで生まれ育った方からは聞きますが、でも、今でもこの元気で活気は、土佐の皆さんのハートに残り続けているのを、逆に移住してきた私からすると深く感じます。土佐の、何か分からないけど、ワーツと盛り上がるときの、あの祭りのようなエネルギーは世界にも誇れるエネルギーだと思っていて、それが、時代が一周回って、今いろんな困難に直面しているからこそ、土佐が牽引していく活気、元気なんじゃないかなと改めて思いました。



このキネマは、中澤社長はじめ高知の皆さまのおかげで、こういった場所でオープンさせていただくことができました。会長からもお話があったように、隣にはイベントもできるKanauというスペースもあります。全国的にも劇場がどんどん無くなってきている今の時代に、こういった町の中に住むところが登場して、その下に映画館をオープンできるというのは、映画関係者の方々も、本当に奇跡だと言っています。そんな奇跡を、もちろん苦労はあったんですけど、でも出来たということ。高知県は、できないと思っていたことが実現できる県でもあると思いますし、ロータリーの奉仕という言葉を見たときに、私は、もう一つ、高知県は奉仕県でもあると。もっと言うと四国自体も高知県じゃないかと思っています。

奉仕と聞くと、何か崇高すぎてきゅっとする方もいるかもしれませんが、高知の人の「かまんよ、持っていきや」とか「えいえい、よっしゃ、やっちゃお」と。あれは奉仕以外の何物でもない。心から手を差し伸べ、みんなで分かち合いながら、助け合いながら進んでいくという心そのものだと思います。

この場所は映画館ですが、映画館としてだけではなくて、

中身というところにすごく重きを置いてオープンしました。個人的に聞こえるかもしれませんが、例えばヘレン・ケラーが水に触れたときに、それまで分からなかったものを身体で、命で感じて覚醒する瞬間、私はそれを高知で映画を撮ったときに体感しました。高知の自然に触れて、土に触れて、子どもたちと一緒に大豆を育てたりしたときに、何か言葉にならないけど、これが「生きちゆう」力なんだと。私はたくさん命と一緒にここに存在しているんだ。これを未来に伝えていきたい。でも、私は映画の人間なので、映画がこの世界に何をお届けできるかという、ただ、映画鑑賞をして感動していただくだけではなくて、感動をみんなが分かち合うことが、この場所で生まれていったらいいなと。

そこで、体感ということを重視しました。多分、世界初というような工事の過程にも和建設さんが挑戦してくださいましたが、私はそれだけに飽き足らず、ここ全体をみんなの身体にもいいように、目にはみえませんが、いろんな試行錯誤を凝らしています。今、子どもたちに電磁波過敏症といったことも出てきていますので、一番優しい形で、ヨーロッパ基準にしようとか、床の下には私が高知で感動した、命を感じられる炭を敷いたり、ドイツの最先端の医療で身体や命にとって最も自然なもの、マイナスイオンのようなものを受け取れるようにとか、ラウンジには土佐のヒノキなどの建材を使っています。座席も全て取り外しができますし、後ろの段も押し込むとホールにもなるという、いろんなアレンジが可能です。また、入ったところには、畑などにも使う微生物を土佐漆喰に練り込んで、森に入ったときみたいに過ごしていただける等々、たくさんのことを込めています。

カフェに関しても高知は食文化も豊かですから、体感として、映画を見る前に心身とも元気になっていただけるように、いろいろ考えていこうと思っています。ここに来ると映画館ではなくてミュージアムとして、総合的に全ての文化の体験ができる場所としていろいろ考えながら進めているところです。場所ができるということで、商店街の方々ともいろんな



交流をしながら、また、観光で海外や日本全国から来ていただいて、コミュニケーションが生まれる場所であってほしいと考えています。

映画を辞書で引くと「総合芸術」と書いていますが、私は、一番は、いらした方たちが映画が好きとか嫌いとか、分かる分からないではなくて、見られる方々の感覚と記憶の中に反応して共鳴して、それが映画となってこの世に現れているという考え方をしています。今、映画づくりのワークショップを各学校さんで行っています。映画を創ることで表現をする体験の場を用意して、それを発表する映画祭もスタートしていますし、皆さんの会社のCM制作など、どんどん広がりを持っていける所として運営を始めています。

隣のKanauさんには、大きなキッチンがありますので、映画祭のときも活用させていただいています。また、年に1回のオーガニックフェスタのときには、映画を上映しながら、Kanauさんで料理を配ることもできたり、すごくいい関係性がこれからさらにできていくと思って、楽しみにしています。

ぜひ、皆さんにも様々なことで、この映画館をご活用いただき、皆さんと一緒に高知を元気に、そして高知から世界中に、奉仕の心で発信できたらと思っています。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知東RC	2月 7日	観梅夜間例会(阪)	高知ロイヤルRC	2月13日	定款第8条第1節により休会(高)
高知南RC	2月15日	ご長寿祝い例会(阪)	高知中央RC	2月15日	建国記念日に振替の為休会(城)
高知西RC	2月16日	古希・還暦祝賀夜間例会(三)	高知RC	2月20日	ロータリー創立記念夜間例会(三)
高知ロイヤルRC	2月20日	定款第8条第1節により休会(高)	高知南RC	2月22日	天皇誕生日に振替の為休会(阪)
高知中央RC	2月22日	天皇誕生日に振替の為休会(城)			

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (高)…高知プリンスホテル

ニコニコ箱 【敬称略】 (1月16日)

- 天野三恵子 2年10カ月お世話になりました。高知ロータリーの皆さまのおかげで昼も夜も本当に楽しい生活を送ることができました。高知の強い女性と豪快な男性、大好きです。高知は私の第一のふるさとですので、これからも末永くよろしくお祈りします。29日はこじんと飲みます！
- 吉村 貴志 年末の家の誕生日にすてきなお花をありがとうございました。ニコニコ遅くなり申し訳ございません。
- 寺田 文彦 明日1月24日は長男・光希の2歳の誕生日です。この1年間は自我が芽生え、意思表示をするようになり、意に背くと“イオン君”のように床につぶして泣き続ける光景が見られるようになりました。動き続けるせいか、体重が弟の有希と3kgしか変わらず、うかうかしていると抜かれるかもしれません。喜怒哀楽を出すこうくんが大好きです。弟が出すちょっかいは大目に見てあげてね。
- 川崎 敦子 } 出会いがあれば別れもあるこの季節、ご存知のとおり天野会員が奈良への異動が決まりました。改めて、
(米山奨学委員長) } 天野支店長のご栄転おめでとうございます。急なことでしたので、先日皆さまにも送別会の案内を29日開
森田 陽介 } 催の親睦委員会交流会と合同開催ということで送らせていただきました。当日はニコニコと楽しくお送り
(親睦委員長) } したいと思います。よろしくお祈りいたします。そして、天野会員、今までいろいろとありがとうございました。
29日は楽しみましょう。

2月のお祝い

(会員誕生日)	竜口 淳也	寺本 武司	高村 禎二	小島 尚
	関 裕司	安藤 一臣	田岡 弘久	各会員
(配偶者誕生日)	関 敬子	森本美奈子	久松 智津	杉本 延一
	紫藤 禎子	広末 多江	山中 寛子	各会員配偶者
(結婚記念日)	佐竹 新市	隅田 和稔	小笠原晃男	山崎広一郎
	安光 保二	山中 謙治	西山 彰一	各会員

◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
1月23日	(-8)89	59	14	8	83%
1月 9日	(-4)89	62	8	15	90%

● 累計額 [1月30日現在]

ニコニコ箱	503,800円	ロータリー <small>さんさん</small> 燦燦基金	158,080円	ポリオ募金	308,700円
-------	----------	--------------------------------	----------	-------	----------

■ 次週のプログラム [2月13日]

米山記念奨学生スピーチ
高知工科大学 基盤工学専攻
シティ ロダトゥル ファディラさん
「日本への旅:自己紹介と研究」

創 立 昭和12年10月
例 会 日 火曜日 12:30~13:30
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事 務 局 高知市本町3丁目3-39 高知放送南館8階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>